

ようき会通信

【釧根地区ようき会】

2月3日、釧根支部の方と協力し、誠綱分教会にて節分行事をさせて頂いた。

参加者は大人6名・子供9名の合計15名の方が集まり、少年会のゲームやお菓子まきを行ない、恵方巻きを頂きながら賑やかに地域での交流を深めさせて頂いた。お力添え頂きました皆様ありがとうございます。



修養科を終えて



誠中央分教会所属 田中 海夏人さん

私は3ヶ月間この修養科を通して本当の幸せというものを学びました。今までの価値観では欲しい物を手に入れることが幸せだと思っていました。が、そうではなく幸せの基準を低くし、小さなことでも喜べるようになること、辛い状況でも後々に成長させて頂けるために与えて下さった試練なのだ、その中にありがたみを見出し常に喜べるようになることこそが本当の幸せだということに気がきました。修養科は先ほど申した幸せの基準を低くするのに最適な

場所だと思っています。ある人の言葉を使いますが、ジムが身体の筋肉を鍛える場所なら、きっとこの修養科は心に筋肉をつける場所だと思います。筋肉も適度な負荷をかけて強くなるように、心も負荷をかけることで強くなるのだと思います。修養科生活も最初は嫌なこと、辛いこと、やりたくないことがたくさんあり、逃げ出そうと何度も思いましたが、逃げ出さずにちゃんと向き合ったことで嫌なこと慣れ、慣れたことからそれがいつしか喜べるものになり、私の修養科生活はとても楽しいものになりました。そういった幸せになるための根本的なことを学ばせてくれた修養科を通して出会った皆様、身近で支え見守ってくれた教養掛の先生、そしてこの場を助めてくれた所属の会長様、支援してくれた父に感謝の言葉があります。これからはこの場で学んだことを生かし、より明るい人生になるよう、帰ってからもこの気持ちを忘れずに日々勇んで喜べる通り方をしていきたいと思っています。

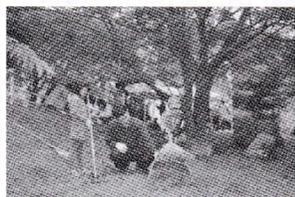
全教一斉ひのきしんデー

「全教一斉ひのきしんデー」は、日ごろのひのきしん活動の集大成として、全教のようぼく・信者が、それぞれの土地所で心を一つにひのきしんをする日です。

この全教行事は昭和7年(1932年)に始まり、現在は毎年4月29日に実施されています。この日、各地の名所旧跡、公園や公共施設、海、山、川などで、報恩感謝の汗を流す教友の勇んだ姿が見られます。夫婦・親子の絆が深まり、家庭の団結が切実な問題となっている昨今、「ひのきしんデー」に家族そろって参加することは、お道ならではの家族団らんの姿を社会へ映していく機会にもなるでしょう。

(令和2年)
立教183年4月29日

開催場所は網走大教会
もしくは最寄りの教会までご連絡下さい
天理教網走大教会 0152-43-2227



～コロナウイルスの一日も早い終息を願って～

新型コロナウイルスの感染拡大が国内外で進行している現状に鑑み、感染拡大の早期終息はもとより、罹患された方々の身上平癒とともに、さまざまな困難に直面している方々の、一日も早い平穏な日常への回復と、社会的・経済的な混乱の収まりを願って、教会本部で3月3日正午より、本部神殿でお願いづとめが勤められました。

巻頭でもお知らせ致しましたが、おぢばでの行事も中止せざるを得ない状況になってまいりました。来月に迫りました、天理教婦人会創立110周年記念総会までには、どうか御守護頂けるよう、皆様にも日々のおお願いづとめをお願い致します。

《予防法》

- ◎石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒
- ◎できる限り混雑した場所を避ける
- ◎十分な睡眠をとる
- ◎屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごす時は注意する

陽気ぐらしで一日も早い終息を!!